

# 機動処理グループについて

## 一般質問



高橋佐代子 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 3月初めに決めた計画性のない思いつき組織ではないのか。副市長直轄組織であるが、指示系統、業務報告はどのようになっているのか。

**答** ごみ処理の広域化に伴い、人材、能力の有効活用を11月ごろから検討、3月に決定した。組織横断的な課題を解決するため、臨機応変に対応するよう副市長直轄にし、随時協議して指示を与えている。

**問** 地域要望への初期対応、地域課題に対する援助、その

他イベント支援等の業務内容の詳細は？

**答** 検討段階であり明確に決まっていないが、大きなイベントの支援では、サイサイまつり各種イベントの開催に向けて、会場整備、資材設置等に機動的業務を支援する。

**問** 試行的な組織なのか。費用対効果等を検証されているのか。組織として問題はないのか。

**答** 今後も組織として継続していく。横断的かつ機動的に活動するということが一定のサービス向上の効果が得られていると思っている。職員のそれぞれの能力を生かし、職員間のコミュニケーションを図りたい。

**問** ふるさと創造会議に地域担当職員ではない機動処理グループの職員がどう関わるのか。

**答** パートナーシップを発揮し、公平性、地域の偏りなくバランスよくやっていきたい。

**要望** 機動処理グループは人員体制としては充実しているが、単なる便利屋さんとか他部署から押しつけられた業務で終わることなく、横断的かつ機動的に市民サービスを提供するという創設の目的に沿った業務を行っていただきたい。市民が快適に暮らしやすい町になることを願い、副市長にリーダーとしてしっかり頑張っていたいただきたい。

### ■その他の質問項目

- ・損害賠償に係る事案について

# 文科省の公立小中学校の統廃合基準の指針の見直しについて

## 一般質問



別府 直 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 文科省の公立小中学校の統廃合基準の指針の見直しについて。

**答** 今回の見直しは、今後さらなる少子化が見込まれるなか、国の厳しい財政状況も相まって、通学距離の基準を通学時間に変更する等、統廃合の促進を狙いとしたものです。

**問** 加西市で以前統廃合の話が出たときは、非常に強い反対があったが、数年後の今では誰もが生徒数の減少を実感し、統廃合が現実的なものとなってきた。そこで、周辺自治体の実態についてお尋ねする。

**答** 北播では、現在、多可町が統廃合を進めており、多可町八千代地区の3つの小学校を統廃合し新小学校の建設を予定しているとのこと。

**問** 学校の統廃合、また、その際に残される校舎の再利用についても検討する必要性が出てきているのではないのか。

**答** 学校は、地域の教育のみならず、地域の防災拠点としての役割も担っています。また、地域コミュニティにも有効活用していただけるよう、地域住民の声を聞きながら、長期的、複合的な展望をもって検討していく必要があると考えています。

**問** 日本創成会議人口減少問題検討分科会の人口推定によると、2040年に若年女性が50%以上減少する自治体は消滅する可能性が高いとされ、加西市も播磨地域の10市町の中に名前が挙がっている。人口減少への手立てとして、魅力的

な教育環境を整え「学ぶなら加西市」としていかなければならないと思うがどうか。

**答** 加西市の教育環境は、近年の耐震補強、地震改築、トイレ改修工事、空調設置により、ハード面がすばらしく整備されてきました。今後は、将来を見据えたソフト面の充実を図っていく必要があり、ゼロ歳から15歳までの一貫教育、とりわけ義務教育の小中学校9年間については、発達や学びの連続性を保つ連携教育をさらに進めていきたいと考えています。学校・家庭・地域を一つに連携し、目標を達成すべく頑張っていきます。

### ■その他の質問項目

- ・太陽光発電施設について
- ・ゴミ対策について
- ・加西市民病院について